

注 意 報

平成16年10月15日

長崎県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予察 注意報第8号

野菜・花き類 オオタバコガ、ハスモンヨトウ

1. 発生地域（対象地域） 県下全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

1) 10月上旬の巡回調査の結果、オオタバコガ、ハスモンヨトウの発生が増加しており、以下の作物、地域で被害が認められる。

<オオタバコガ>

ばれいしょ：西海町、有明町、愛野町、加津佐町 発生圃場率40.0%

キャベツ：島原市、瑞穂町 寄生株率1.3%（昨年0.3%）

<ハスモンヨトウ>

ばれいしょ：西海町、有明町、愛野町、小浜町、加津佐町

被害株率24.2%（平年8.0%）

イチゴ：長崎市、大村市、西彼町、東彼杵町、国見町、瑞穂町、北有馬町、吉井町

被害株率11.2%（平年13.7%）、寄生株率2.7%（平年1.0%）

キャベツ：島原市、松浦市、西彼町、瑞穂町 寄生株率7.1%（平年2.2%）

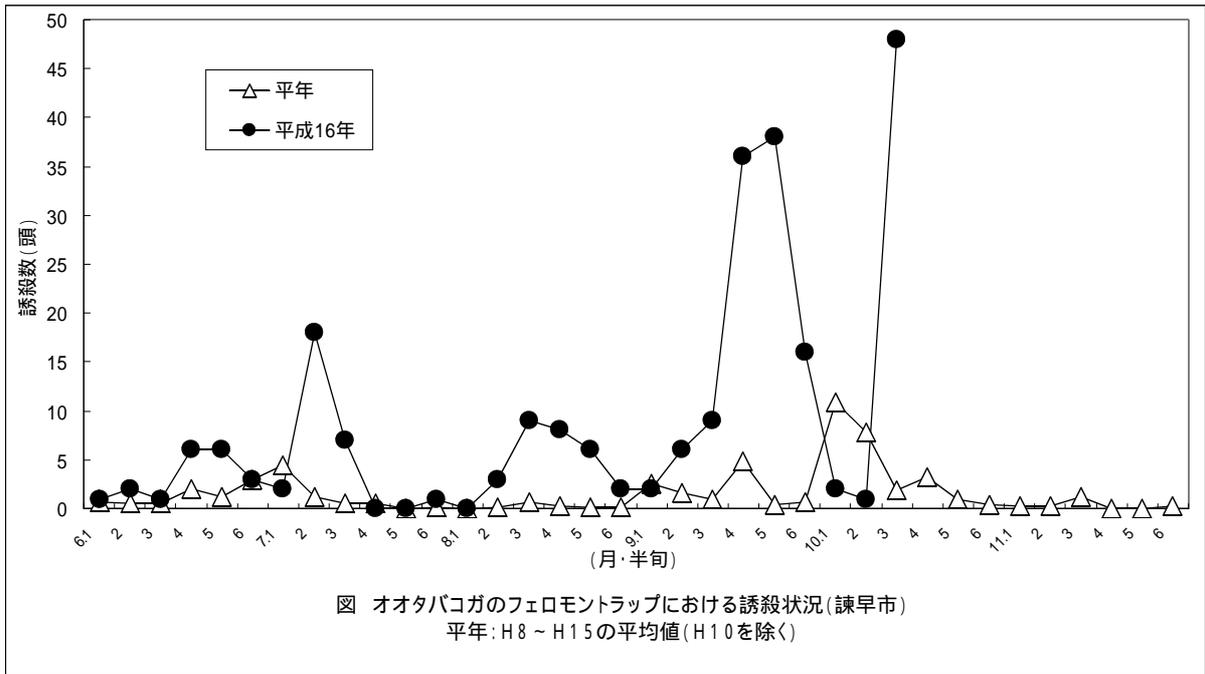
レタス：島原市、南串山町 寄生株率2.2%（平年0.7%）

2) 10月上旬の県予察圃場（無防除）の調査の結果、オオタバコガの寄生株率はばれいしょで4.0%、キャベツで13.3%、レタスで12.0%、ハスモンヨトウの寄生株率はばれいしょで2.0%、キャベツで73.3%、レタスで86.0%であった。

3) 10月上旬の病害虫防除員による調査では、ハスモンヨトウによるばれいしょとイチゴの被害が県内広域で認められた。

4) フェロモントラップ（諫早市）の誘殺量は9月4、5半旬に急増し、10月3半旬に再び増加している（図）。

5) 向こう1ヶ月間の気象は気温、降水量および日照時間ともに平年並みであり、これら害虫の発生に好適である。



3. 防除上注意すべき事項

- 1) いずれの種も老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期のうちに防除する。
特に、オオタバコガ幼虫は結球部や果実、花蕾等に食入するため薬液がかかりにくく、防除効率が低下するので早期防除に努める（薬剤は、県防除基準を参照）。
- 2) 施設栽培では成虫の飛来侵入を防止するため、側面に防虫ネットを張る。
- 3) 薬剤散布の際には、農薬の使用基準を遵守する。